



りんくうタウンでeスポーツキャンプが開催されました

問合せ おもてなし課
(☎447-8126)



泉佐野市主催の「eスポーツキャンプ」が8月22日(月)～25日(木)の4日間、りんくうタウンにある「オチャアリーナ」で開催されました。
eスポーツキャンプには、全国から高校生44人が参加し、3泊4日に及ぶ練習と大会が行われました。最終日の8月25日の決勝大会は大盛り上がりで、甲子園さながらの熱い戦いが繰り広げられました。

記者会見での千代松市長コメント

泉佐野市は、りんくうタウンを中心に「eスポーツ先進都市」をめざす新しい取組をスタートしました。

競技人口が増え、そして世界的な注目が集まっているeスポーツですが、いざ大会となると交通のアクセスの利便性が非常に重要になってくると思いますので、関西国際空港がある泉佐野市、とりわけりんくうタウンを中心に、今後事業を展開してまいります。



eスポーツとは？

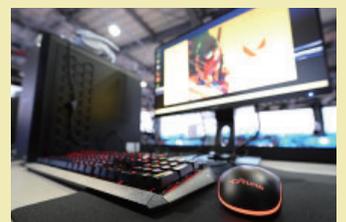
eスポーツは、コンピュータゲームを使ったスポーツ競技のことで、現在若年層を中心に世界中で盛り上がりを見せています。

また最近では東京オリンピック開催前に国際オリンピック委員会が、オリンピック・バーチャルシリーズとして実施するなど、日本でも注目度が高まってきているスポーツです。

なぜ泉佐野市がeスポーツキャンプを開催？

泉佐野市は、MICE誘致という、会議やイベントを誘致し、それらをきっかけに地域経済の活性化と泉佐野市の都市ブランド化を図ってきました。

今回は、その一環としてeスポーツに取り組むこととなり、南大阪地域でeスポーツに力を入れている南海電気鉄道株式会社の提案を受け、官民協働の取組として開催することになりました。





合宿最終日の決勝大会

今回のeスポーツキャンプでは、5対5で対戦する競技性の高いタクティカルシューターというジャンルのシューティングゲームが選ばれました。

決勝大会は4日間をともに過ごした仲間たち5人一組のチームワークが見どころとなり、会場のオチアリーナの盛り上がりは最高潮に。チーム「こぶし銀」が見事優勝を勝ち取ると、コーチを含め6人が喜びを分かち合っていました。壇上で優勝トロフィーを受け取り4日間の大会が幕を下ろしました。

優勝チーム「こぶし銀」メンバーインタビュー

Q 今回の合宿で成長出来た点はどんなところですか？

A 来る前までは、コミュニケーションが苦手だったんですが、キャンプに来てから積極的に話しかけてくれたり、試合に勝ったら褒めてくれたりしたので、コミュニケーション能力も上がったと思います。

Q 今後eスポーツを始めてみたいと思っている人にひとこと

A eスポーツっていうのは、普通のサッカーや野球みたいにみんなでやるものなんですけど、体を動かさない人だったり学校とかでは話じづらい人でも、顔を見ずに電話しながらとかでいるんな人とつながっていきける素晴らしい競技だと思うので、ぜひみなさんもeスポーツをやってみてください。



『eスポーツ先進都市・泉佐野』実現へ向けて ～体験施設が11月にオープン予定～

市民、参加者、事業者などのみなさんがeスポーツに打ち込める「eスポーツ先進都市・泉佐野」の実現をめざし、「企業版ふるさと納税」を活用して大きく3つの事業を展開する予定です。

①eスタジアム泉佐野

りんくうタウンに来た人にeスポーツを体感していただく施設で、りんくうタウン駅構内に設置し、11月28日の開業を予定しています。利用料は無料の予定です。



①eスタジアム泉佐野

②eスポーツ キャンプ

③eスポーツ キャンプ Plus+(仮称)

②eスポーツキャンプ

ゲームで青春を作るeスポーツ合宿。今後の開催については、採用タイトルや対象年齢の変更も視野に入れ、eスポーツファンを幅広く受け入れていく予定です。

③eスポーツキャンプPlus+(仮称)

「プロに繋がる道筋を作る」という考え方のもと、プロチームとともに「アカデミー選手育成プログラム」を展開する予定です。